

平成26年第8回 魚津市教育委員会会議録

1 開催日時及び場所

平成26年7月2日(水)午後4時30分
第一分庁舎2階会議室

2 出席委員

- 1番 島津 豊
- 2番 潮由 加子
- 3番 畠山 敏一
- 4番 大野 聡一
- 5番 長島 潔

3 出席職員

次長兼教育総務課長	川岸 勇一	学校教育課長	八倉 卷清彦
生涯学習・スポーツ課長	南塚 智樹	こども課長	高木 繁徳
学校給食センター所長	住田 賀津彦	図書館長	中山 明夫
水族博物館長	稲村 修	埋没林博物館長	麻柄 一志
教育総務課長代理	江田 直樹	生学・スポ課課長代理	高山 茂樹
学校教育係長	矢野 道宝	生涯学習係長	藤田 晶子
スポーツ係長	小林 弘幸	教育総務課主任	明石 主計

4 傍聴人 なし

5 会議の要旨

午後4時30分、島津委員長が開会を宣する。

(1) 前回会議録の承認

全員異議なく承認した。

(2) 報告事項

- ① 魚津市就学援助に関する要綱の一部改正について (説明 矢野学校教育係長)
- ② 魚津市立図書館7～9月行事予定について (説明 中山図書館長)
- ③ 魚津水族博物館行事予定について (説明 稲村水族博物館長)
- ④ 親学び講演会の開催について (説明 藤田生涯学習係長)
- ⑤ 少年サッカー大会におけるスポーツクラブ体罰の件について
(説明 南塚生涯学習・スポーツ課長)
- ⑥ 魚津市学校規模適正化推進計画に係る説明会の実施状況について (説明 江田総務課長代理)

(3) 議事

【魚津市就学援助に関する要綱の一部改正について】

畠山委員

平成25年8月に生活保護基準の見直しがあったが、対象者は従来どおりとするとの説明だった。それは、今もらっている子ども達なのか、それともこれから入学する子ども達も対象とするのか。もしそうなら国が言っている継続性と今回見直ししたとの関係はどうかのかわかりにくい。

矢野係長

就学援助の認定は毎年度しており、4月に申請してもらっている。

継続については、附則において当分の間行うことになっている。

川岸次長

今受給している者を保証するというよりも、当分の間、今の基準を維持するといった考えだ。

大野委員

就学援助の支給を受けている人数はどのくらいか。また、人数は増えているのか減っているのか。

矢野学校教育係長

本年度当初は、小中学校合わせて244名であり、昨年度は年度末で273名であった。29名の減となっているが、年度末までには世帯状況の変化などにより追加申請で何人か増えるかもしれない。また、昨年度の支給額は21,891千円となっている。

大野委員

受給者数を他の市町村と比較するとどうなのか。同規模の都市間比較ではわかるか。

矢野学校教育係長

現在、把握していない。

川岸次長

どの市町村もあまり変わらないと思うが、県内の状況等を調べて報告したい。

【少年サッカー大会におけるスポーツクラブの体罰の件について】

川岸次長

教育委員会が直接所管する団体ではないが、子どもが関係するため、今回の件を契機に再度、関係団体に注意喚起を促した。また、明日の議員協議会でも今回の対応について報告することになっている。

大野委員

ボーイスカウトを指導していて、作業中に命にかかわるような事をしたときは叩いたりすることはある。しかし、単にふざけているときは口頭で叱る。叩いたりするといったことは時代には合っていないと思う。ただ、火を使ったり、鉈で薪を割ったりといった野外活動中に、鉈を振り回すなど危険な行為をした場合は強く指導するし、それは、保護者の方にも十分に理解を得ている。昔と今はスパルタ的なものも変わっているので時代のニーズに合わせなければならない。

潮委員

今は、セクハラ、パワハラなど言葉によるものもあり、境目が難しい。子どものためにやったことかもしれないが。

大野委員

指導は難しい。勝利至上主義もあるだろうし、勝って得ること、負けて得ることもあるので。

【魚津市学校規模適正化推進計画に係る説明会の実施状況について】

島津委員長

説明会后、次の段階はどのように進めるのか。

江田総務課長代理

各地区からの合意が得られれば、片貝小、吉島小、西布施小の統合校については、10月頃に協議会をつくり、校名や通学等についての協議に入りたいと考えている。

現在の本江小への統合校については、4年後が開校予定であり、その2年前から協議会をつくりたいと考えている。校舎を新築する予定なので、12月又は3月補正で設計に関する予算を計上していきたい。

また、現在の住吉小への統合校についても、年内に合意を得て、来年度当初予算に校舎新築に係る設計予算を計上していきたいと考えている。

道下小、経田小の統合については、まだ9年先ということもあり、統合年度の平成35年度以降の児童数がきちんと出てきたところを見計らって、再度、合意に向けた話し合いをしていきたいと考えている。

大野委員

現在の住吉小への統合については、場所について反対意見があるのか。

川岸次長

下中島地区については、推進計画に賛成との立場だ。松倉、上中島地区については、統合には賛成だが、もう少し（統合校を）山側に建てられないかとの思いを感じる。そうした地元の思いも十分に参酌し、まとめた計画であることは説明している。今後、どのような形で地区から書面が出てくるかわからないが、理解を得られるよう努力していきたい。

また、経田地区では、今計画で初めて統合対象となったことから抵抗感が感じとれた。計画の見直しを迫るような意見もあったが、計画は既に決定したということを示し上げた。ただ、（統合年度まで年数があり）他地区と同様に今年度中に了解を得るのは難しい面もあるので、無理をせずに時間をかけて理解を得られるよう努力したいと考えている。

潮委員

昨日、西布施小学校に行ったところ、「友達いっぱい大作戦」との掲示があり、片貝小、吉島小との3校で交流事業をやっているとのことだった。子どもたちにとっても多くの友達と楽しんで、すごくいいことだと思って見ていた。

そこで、交流事業のアクセスはどうしているのか聞いてみると、現在は市のバスを使用しているが7月で廃止になると言われた。それ以後は、どのように対応するのか聞かせてほしい。

八倉巻学校教育課長

これまで、市のバスをよく利用していたが、（廃止になることから）急遽補正予算を組んだ。学年等の活動単位によって、中型バスやジャンボタクシーを使い分けながら対応していきたいと考えている。

5月頃は市の体育大会に向けて合同練習をしていたが、西布施の児童が倒れたときに吉島の児童が助けてあげるなど、子どもたちは本当に自然に馴染むと再認識した。先生方の交流も含め、非常にいい形になっている。8月には水泳記録会を合同で開く予定だ。さらに、遠足やタグラグビー大会も一緒にやろうと計画している。

川岸次長

片貝小、吉島小、西布施小については、統合に向けて理解が得られており、既に学校跡地をどうするかについて目を向けている。早速明晩、西布施地区の代表と意見交換することになっている。

午後5時30分、議事が終了したので委員長が閉会を宣した。